

株式会社富士電熱開発社

「情熱」を燃やし「電熱」を創り続ける産業用ヒーターの専門家集団

——高品質製品ときめ細かいフォローで顧客を離さない

ここに
注目!

顧客に困ったことがあれば、あらゆる事態に対応するアフタフォロー力
「超小型」から「超大型」まで、他社にできないヒーターづくりで差別化

160万年前に原人が火を利用して始めて以来、人類にとって「熱」は、なくてはならないエネルギーだ。今も生活や産業で「熱」は依然として重要な役割を果たしている。富士電熱開発社は、ものづくり現場の必需品である電熱ヒーターで産業界に貢献する成長企業だ。同社の電熱ヒーターは、カメラのレンズやパソコン、家庭用ゲーム機、自動車、

バッテリー、プラモデル、文房具、家庭用品、食料品など、ありとあらゆる分野で利用され、社会に貢献している。

同社の創業は1981（昭和56）年。長寿命で安定した性能を発揮する高い品質と、何かトラブルが生じた際に迅速に対応するきめ細かいフォローで顧客を増やしてきた。自社製品でなくても、顧客に困ったことがあれば対応を考え

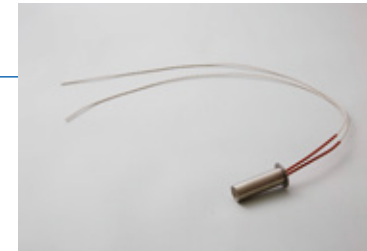
る。同社の山口宣弘社長は「他社製品の相談であっても、わが社には勉強になり知識も広がる」と話す。こうした真摯な経営姿勢が評価され、創業から取引が続いている固定客も多い。

大手企業を唸らせた高ワットボルトヒーター

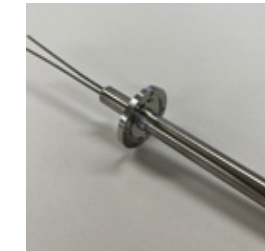
同社が取り扱う製品はカートリッジヒーターやシーズヒーター、アルミ鑄込みヒーター、熱電対など幅広い。品質やきめ細かいフォローに加えて、ユーザーが実際に使う環境で最大限の能力を発揮できる製品を設計、提案している。熱を加えて包装材を圧着する梱包機のシーラーで温度ムラが生じて包装不良が発生していた顧客には、温度ムラを解消するためにヒーター出力を調節して熱が均一になるよう提案した。

1,000℃を超える高ワットボルトヒーターも、顧客の困り事に寄り添って開発した製品だ。ヒーターでボルトを温めて締め込んでおき、ボルトが冷めることで収縮してボルトの締付力を増大させる。電気ヒーターは500℃前後が売れ筋であり、他社がなかなか手を出さない製品だった。富士電熱開発は納入先と共同研究に取り組み、従来は3～4時間もかかっていたボルトの締め込み作業を、わずか20～30分に短縮。顧客からは「作業時間の短縮で日帰り出張が可能になり、コスト削減につながった」と喜ばれたという。

2006年に先代社長が急逝し、息子で工場長だった山口社長にバ



カートリッジヒーター
低温より高温、どの範囲においても安定出力を行う



真空用カートリッジヒーター



複数回路式ヒーター
1本のカートリッジヒーター内部を3回路に分け、それぞれを独立制御できる

トンタッチ。ほどなくして現場の職人たちの世代交代もあり、従来は手作りだった部品を自動化機械での加工に切り替える。新入社員でも安定した品質の部品を製造できるようになった。「特殊な製品づくりをしているので、市販の教材はない。私自身も現場に入り、一緒に仕事をしながら新人たちに技術を教えている」（山口社長）。

長いお付き合いの顧客が多い「強み」を生かす

今後の成長戦略については、「今までやってきたことを、これからも続けていく」（同）と自然体だ。現在の顧客の多くは既存客の口コミや紹介で獲得した。顧客

の新規開拓は「商談が価格に偏りがちで、取引が長続きしない。口コミや紹介でご縁ができた顧客は、わが社の製品やアフタサービスをご理解いただいた上で課題を共有できるため、長いお付き合いになる」（同）のだという。中国工場では現地顧客の紹介がきっかけとなり、トヨタ自動車との取引も始まった。

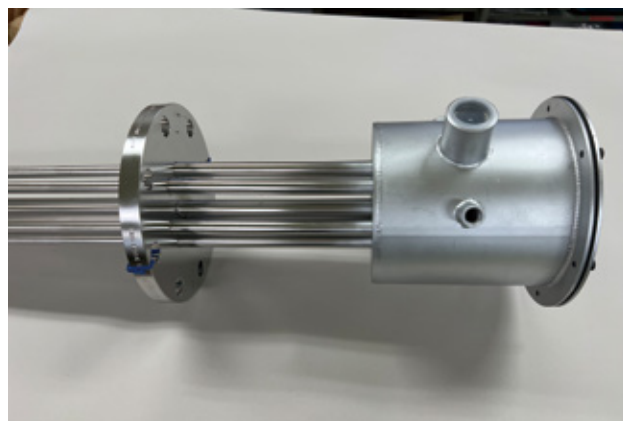
こうした取り組みで5年後に売上高を現在の4億円から1.5倍の6億円へ、営業利益も2倍へ引き上げる計画だ。しかし、決して先行きを楽観視しているわけではない。山口社長は「今後、電気ヒーター市場は縮小する」と気を引き締める。それでも同社は電気ヒ

ーターとは全くの畑違いとなる新規事業には手を出さないという。

低価格で制御しやすく小型化が可能な電気ヒーターは、医療や環境分析など新たな用途も広がっている。同社は他社にない大容量の超大型ヒーターと極小ヒーターの「両面作戦」で、高付加価値化を目指す。そのための研究開発や設備投資を積極的に進めており、生産できる製品の幅も広がっている。「みんなが喜ぶヒーターを『創る』」をモットーに、あらゆる生産ラインで活躍する電熱ヒーターを顧客ニーズに合わせて開発・製造する方針だ。これからも富士電熱開発社の挑戦が続く。



本社工場



フランジヒーター

「わが社」を語る

代表取締役社長
山口 宣弘氏



長く働いてもらえる職場環境に注力

今後わが社が成長を続けるには、従業員が最も重要だと考えています。他社にない専門的な仕事をしているだけでなく、一から自社の仕事を覚えてもらわなくてはなりません。人材育成には時間がかかるため、長く働いてもらえる職場環境の整備にも力を入れています。一方、社内コミュニケーションの円滑化では、年2回の社内パーティーを実施しているほか、コロナ禍で中断

していた2年に1回の海外社員旅行の復活も検討しています。いずれも経費は全額会社負担です。こうした取り組みもあって平均勤続年数は長く、30年以上働き続けている社員も多くいます。電気ヒーターは、やればやるほど面白い製品です。未経験の仕事でもコツコツ頑張る努力でできる、根気強い人材を求めています。

会社 DATA

所在地：大阪市鶴見区今津南2-7-36

設立：1981（昭和56）年5月1日

代表者：山口 宣弘

資本金：1,000万円

従業員数：37名

事業内容：カートリッジヒーター、シーズヒーター、アルミ鑄込みヒーター、セラミックヒーター、バンドヒーター、ノズルヒーター、熱電対、測温抵抗対、温度調節制御盤、電熱応用機器等の設計製作

URL：http://www.fujidennetsu.co.jp/

